

# 旧紳 旧料亭久の家

## 松江市 歴史的 建造物 一斉公開

# かけやま山口薬局 國暉酒造

まるでその時代にタイムスリップしたかのような雰囲気味わえる、松江の古くて美しい歴史的建造物に会いに行こう。当時の暮らしが垣間見える建築に触れ、心落ち着く時間を過ごしてみませんか。


【日時】令和3年3月20日(土・祝)10時〜16時

【場所】東本町・京店・東茶町

**ガイド付き**  
歴史的建造物をめぐるまちあるき

- ①11〜12時
- ②14〜15時

〈集合場所〉  
旧料亭久の家  
(東本町1丁目9)  
参加無料／要申込  
\*3月1日より申込開始



**久の家BASE**

- 三上珈琲<ドリップコーヒー・豆販売>
- オーガニック×発酵菓子 鹿糠<焼き菓子>
- 浪花寿司<いなり寿司>
- しょうが女子会<レモングリーンカレー>
- TOTONOLととのえる<物販と施術>
- 甘嬉 いちから<和菓子>
- 冬營舎<古本>
- YUKI<抹茶>
- 古道具伊野屋<装飾・古道具販売>
- kusa<装飾・花販売>

BGM: Kindai Coin Toss



【お問合せ】松江市歴史まちづくり部まちづくり文化財課 電話(0852)5515956  
※新型コロナウイルス感染症や天候の影響により、中止または延期をする場合があります。松江市のホームページでご確認ください。



## 1 旧料亭久の家

◆建築年：昭和12年(1937) ◆構造：木造2階建

通りに面した漆喰塀と松の木が印象的な元料亭の建物。塀には蛙が乗った瓦が葺いてあり、所有者の遊び心が垣間見える。矢筈(弓矢の尾の形)に板を張った戸袋、開いた竹を張った庇の天井、玄関上部の舟虫食い欄間などが華やかで優美。



## 2 旧紳士服トラヤ(元山陰道産業株式会社)

◆建築年：昭和7年(1932) ◆構造：鉄骨造、一部木造2階建

成田光二郎氏(1892-1970)の設計。

アールデコ調の飾り窓とその間のブドウ・ヤギ・サル・子供などをデザインした来待石製の8枚のレリーフが特徴的。今は工芸品を売るお店「objects」が素敵な水辺の景観を演出している。



## 3 山口薬局

◆建築年代：明治中期 ◆構造：木造2階建

山口家は安永元年(1772)開業の商家。明治の町家建築。屋根は出雲地方特有の左棧瓦や来待石製の棟石を用い、腕木の先端に繰り形を施した出桁造。小泉八雲は、ここで販売されるビールを愛飲していたのだとか。明治時代のままの店内の雰囲気は映画のセットのように幻想的。お店では、漢方薬のほかに、生姜茶やレトロなガラス瓶なども販売されている。



## 4 かげやま呉服店(旧第三国立銀行松江支店)

◆建築年：明治37年(1904) ◆構造：土蔵造 木造2階建

岡田時太郎氏(1859-1926)の設計。

松江市で一番古い銀行建築。寄棟風にのせた和瓦、白い漆喰壁や来待石製の建物基礎、第三銀行の「三」のマークが付く鬼瓦が特徴的。金融街だった当時のまちの面影を今に伝えている。お店は、着物のレンタルや着付け教室も開催されている。



## 5 國暉酒造 ※改装工事のため外観のみの見学

◆建築年代：江戸後期以降

◆構造：主屋…木造2階建 仕込蔵…土蔵造2階建

主屋は、漆喰壁、板壁を使用し、出桁や持ち送り梁、木返格子、平格子が施されている伝統的な町家。蔵は松江藩・松平家から譲り受け、幾世代にもわたり育まれてきた。宍道湖大橋から見える煙突が印象的。お店では、蔵出しそのままの味を試飲できる。



同日開催

## まちづくりシンポジウム

(17~19時/オンライン配信/参加無料)

水辺活用で知られる泉英明さんら、まちづくりのトップランナー3名によるトークセッション。白湯地区をテーマに、歩きたくなるまち・水辺の未来のお話をきいてみませんか？

松江市では、歴史的建造物の保全・活用など、歴史や文化を活かしたまちづくり事業をおこなっています。